

## 美術館へ質問

### 1 県立美術館について、どんなことが知りたいですか？(例:どんな作品があるの？ どんなことができるの？オンラインでの活用はあるの？等)

**Q① 授業の活用法や出前授業などがあるのか知りたいです。**

A① 学校・学級で鑑賞支援プログラムにお申し込みいただいた団体に対し、キャリア教育の側面から美術館の役割や仕事の内容、マナーについて等説明を行ったり、鑑賞ボランティアによる「対話による鑑賞」を実施しています。また、教育普及担当学芸員が出前授業を行い、上記のような説明を行うと共に、アートカードを使った鑑賞の授業を行うこともできます。

更に、教育普及キット（①作品を模写したパネル②アートカード（当館収蔵作品をもとにした60枚のカード③解説CD④複製画(レプリカ)×5点）の貸し出しも行っていきます。是非、教育普及担当（玉城）へご相談下さい。

**Q② どんなことができるのか。また、オンラインでできることは。**

A② 現在、当館ではA①で述べたような内容のプログラムをご用意していますが、コロナ以降、オンラインで授業や鑑賞が行えないか？やはり何度も話し合っています。しかし、今のところ、正直、具体的な進展はありません。今後、遠隔地でも美術館が楽しめるような内容を模索しながら、前向きな話し合いを続けていきたいと思っております。

### 2 「授業で活用したいんだけどな・・・」活用する上でハードルに感じていることを教えてください。

**Q① 専門的な知識や、活動内容が専門的なイメージで私も含め、子ども達が参加できる内容かが不安です。発達段階に応じて、どのような活用があるのか知れたら嬉しいです。**

A① 当館が行っているボランティアの「対話による鑑賞」は、専門的な知識を必要としない鑑賞法です。少人数のグループ単位で作品を鑑賞しながら、展覧会場を巡るのですが、特に小学三年生以上の団体に活用して頂くことが多いです。まずは、教育普及担当（玉城）へご相談下さい。

**Q② どのように授業をやればいいのか。**

A② 当館教育普及担当（玉城）へ、是非、お電話 or メールを下さい！  
一緒に考え、相談していきましょう！

**Q③ 北部からだ距離があるため、オンライン、あるいは出張教室、貸出アートカードなどがあるとありがたいです。**

A③ A②の回答の通り、オンラインによる授業に関しては、現段階では進んでいませんが、A①の回答の通り出前授業やアートカード、複製画の貸し出しは行っていますので、是非、教育普及担当（玉城）へご相談下さい。  
尚、今年度（令和5年）の移動展は国頭で開催する予定です。来年1月に予定しており、これから国頭の小中学校へ「出前授業を行いますか？」のご相談を行うことになっています。多くの方が、国頭で開催予定の移動展へ足を運んで頂けると嬉しいです。

※この度は、沖縄県立博物館・美術館（美術館）の活用法などについて、ご質問を頂きありがとうございました。当美術館では、上記の通り様々な鑑賞支援を行っていますが、来館予定日にサポートを依頼したくても、他の学校の先約が入っていたり、ボランティアの方の調整がつかない場合は、サポートのご依頼をお受けできない場合もあります。できるだけご希望に添えるように調整いたしますが、ご希望に添えない場合もあることをご理解・ご了承いただきますようお願い致します。何はともあれ、一度、教育普及担当（玉城）へご相談下さい！

今年、開館16年目を迎える沖縄県立博物館・美術館。コロナ禍を経て、学校や社会と美術館が繋がっていくために、今できることは何かを常に考えながら「アートので沖縄県を元気にしたい！」と担当は思っております！  
当美術館が、「絵を描く楽しさ、ものをつくる喜び、そして、見ることの面白さ」を子ども達に伝え、沖縄県の美術教育の一助となりますように！  
先生方、美術館をどんどん活用して下さい！職員一同、ご来館をお待ちしております！

沖縄県立博物館・美術館 美術館班  
教育普及担当 主任学芸員 玉城 早苗

**【お問合せ先】**

沖縄県立博物館・美術館 美術館班  
教育普及担当 玉城 早苗 (TAMAKI SANAÉ)  
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1  
<[TEL:098-851-5402](tel:098-851-5402)> FAX:098-941-3730  
✉ [m8-016@museums.pref.okinawa.jp](mailto:m8-016@museums.pref.okinawa.jp)